

令和6年度 学校教育自己診断 分析

<生徒回答>

(肯定率が高く、昨年度より肯定率がUPした項目)

- ・1人1台端末を活用している 肯定的評価 94.1%(R5 79.2%)
- ・学校のホームページ、メルマガ、学習支援クラウドサービスなどからいろいろ情報提供がある 肯定的評価 90.7%(R5 81.6%)
- ・命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある 肯定的評価 88.6%(R5 78.6%)
- ・将来の進路や生き方を考える機会がある 肯定的評価 88.8%(R5 80.6%)

(肯定率が低い項目)

- ・学校生活についての先生の指導には納得できる 肯定的評価 64.1%(R5 61.0%)

取組みに対する評価は、全般的に高評価で昨年度よりも高まっており、特に ICT 活用や情報提供の向上が顕著である。情報提供向上については、今年度9月より学校ブログをはじめたことが大きいと推察できる。一方で、「先生の指導」に対する満足度は改善が進んでいるものの、他の項目に比べて評価が低い。生徒や保護者と対話をしっかりと重ね信頼関係を築くことで納得感のある生徒指導につなげていきたい。

<保護者回答>

(肯定率が高い項目)

- ・阪南高校に入学させてよかった 肯定的評価 90.4%(R5 86.7%)
- ・子どもは学校へ行くのを楽しみにしている 肯定的評価 84.6%(R5 85.2%)

(肯定率が低い項目)

- ・学校の授業・講習で進路志望達成に必要な学力がついている 肯定的評価 55.1%(R5 60.6%)
- ・学校に気軽に相談できる先生がいる 肯定的評価 56.4%(R5 54.5%)

「入学させてよかった」「学校を楽しみにしている」の項目はポジティブな評価を維持しており、学校全体の満足度が高いといえるが、学力向上や相談体制に関しては保護者の評価は低い。学校の様々な取組みについて保護者へ発信するとともに、生徒が安心して学校生活を送り進路実現できるように支援していきたい。

<教職員回答>

(肯定率が高い項目)

- ・生徒の人権を尊重し、日々の教育活動を行っている 肯定的評価 91.7%(R5 97.2%)
- ・学校行事は、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で工夫・改善に取り組んでいる 肯定的評価 91.7%(R5 83.3%)
- ・教育相談体制が整備されており、生徒は担任以外の教員とも相談することができる 肯定的評価 89.6%(R5 94.4%)
- ・いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている 肯定的評価 85.4%(R5 77.8%)

(肯定率が低い項目)

- ・新しい教育課程は、生徒に必要な学力をつけ、時間的にも十分なものである
肯定的評価 50.0% (R5 36.1%)
- ・職員会議等の会議が、円滑で有効に機能している
肯定的評価 66.7% (R5 63.9%)

「人権尊重」「いじめ対応体制」「生徒主体の学校行事」の3つの項目で高評価。教職員が生徒の主体性や安全確保に配慮した教育活動を意識しているといえる。一方で、生徒が必要な学力を得られるように、同時に教職員がそれを実感できるように、学習指導の工夫が求められる。また、会議の目的を明確化し時間効率を高めるなど議題を絞り結論を迅速に得られる会議の運営が必要と思われる。それが働きかた改革につながればなお良い。

以上